

第49回 安全工学シンポジウム
(安全工学シンポジウム2019)
「多様化する社会の安全・安心」

主催 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・
リスク検討分科会
共催 日本化学会、他34学協会
会期 2019年7月3日(水)4日(木)、5日(金)
会場 日本学術会議
(東京都港区六本木7-22-34)〔交通〕東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

特別講演

7月4日(木)12:30~13:30(予定)

「大転換時代と安全・安心(仮題)」

講演者: 安井 至 氏

一般財団法人持続性推進機構理事長

東京大学名誉教授

前独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長

基調講演

7月5日(金)13:00~14:00(予定)

「大型イベントの危機管理

～オリパラ・万博を安全に迎えるために地震からテロまで多様な危機に備える～」

講演者: 野口 和彦 氏

横浜国立大学

パネルディスカッション

- 未来社会の安全・安心(仮題)(連携PD)
- 安全目標の新たなる体系化
- 安全活動と人材育成
- 大型イベントの危機管理 ～オリパラ・万博を安全に迎えるために地震からテロまで多様な危機に備える～

オーガナイズドセッション

1. 遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価・管理
2. エアバッグ安全に関わる課題と対策について
3. 今後のNTS(ノンテクニカルスキル)訓練を考える
4. 再発防止の取り組みについて～事故防止のあり方を考える
5. RBSM(Risk Based Safety Management)の紹介と産業界での実施、展開
6. リスクセンス向上手法の開発と実践
7. リスク共生社会に於けるリスクマネジメント活性化手法の開発
8. 建造物の計画から維持管理までの安全
9. 大規模火災に対する建築物等の安全性確保と継続使用
10. 電気電子機器の発火リスク

11. 学際的リスク学分野の体系化～「リスク学事典 2019」
12. 電気設備の品質向上とメンテナンス高度化における安全・安心技術
13. 効果的な警告音とは何か

一般セッション 59 題程度

参加方法： 自由参加。当日直接ご来場下さい。入場無料です。
講演予稿集： 当日会場で実費頒布します（一般 5,000 円，学生 2,000 円）
懇親会： 7月4日（木）16：30～18：30（予定）
会費 3,000 円（予定）

問合先事務局：

公益社団法人 日本化学会

E-mail anzen@gakkai-web.net

<http://www.anzen.org/index.html>